

## 20年後の経営ビジョン競う

# 優勝は北杜市の米田氏(リコペル 代表取締役)

### 日本農業法人協会の記念事業

【山梨】関東各都県の若手農業経営者が20年後の経営ビジョンについてプレゼンテーションする「若手農業者経営コンクール」が9月25日、笛吹市石和町のホテル慶山で開かれた。

日本農業法人協会が設立20周年を迎えたことにより、記念事業として開催。若手の農業法人経営者が約8分ずつ、20年後の経営の

将来像について語った。

審査方法は、各都県農業法人協会代表者や日本農業法人協会役員が審査員を務め、それぞれの経営ビジョンについて独自性・斬新性・実現性について点数制で評価した。最も点数が高かった発表者が優勝となり、来年3月に開かれる全国大会に出場する。

優勝者は山梨県北杜市でトマトやブルーベリーの施

設園芸を営む(株)リコペルの米田茂之代表取締役。海外進出も視野に入れた経営ビジョンが評価され最高得点を獲得した。

コンクール終了後に表彰式が行われ、山梨県農業法人協会代表の(有)ぶどうばたけ・三森青代表取締役が表彰状を授与。米田代表は「全国大会でも良い成果を残せるように頑張りたい」と話した。

表彰を受ける米田氏(左)

